

目 次

1	教育訓練の目的と教育方針	1
2	教育の種類及び内容	1～2
3	教育訓練計画表	3
4	教育訓練日程表	4
5	教育科目及び時間数	5～13

1 教育訓練の目的と教育方針

消防職員及び消防団員に対し、消防の責務を正しく認識させ、資質の向上、学術及び技能の修得並びに体力及び気力の鍛錬を図り、幅広い視野と豊かな人間感覚を持って、職務を遂行し、地域住民の信頼と期待に応え得る消防人を育成することを目的とし、次の教育方針をもってこれにあたる。

- 1 消防責務の自覚
- 2 厳正な規律と団結
- 3 心身の鍛錬
- 4 消防実務の習熟

2 教育の種類及び内容

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

新たに採用された消防職員に対し、必要な基礎実技と学術及び厳正な規律と旺盛な士気並びに体力の鍛錬を図り、公正な職務の遂行をなし得る資質を養う。

(2) 専科教育

現任の消防職員に対し、専門的な教育訓練を行う。

ア 救助科

救助隊員として必要な知識、技術を修得させ、救助隊員として活動できる職員を養成する。

イ 予防査察科

予防査察業務に関する専門知識、技術を修得させ、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導並びに法令に基づく権限行使を行える職員を養成する。

ウ 救急科

救急隊員として必要な知識、技術を修得させ、救急隊員として活動できる職員を養成する。

エ 警防科

警防業務に係る専門的知識、技術を修得させ、災害現場で適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。

(3) 幹部教育

幹部科

指導的立場にある消防職員に対し、幹部として必要な幅広い知識及び指揮監督能力を修得させる。

(4) 短期研修

ア 火災性状体験研修

火災性状を体験的に学習することで、警防活動に関する意識の向上を図る。

イ 火災性状指導者研修

指導的立場にある者で火災性状に関する知識を有する消防職員に対し、コンテナ施設での火災性状体験の指導方法を修得させる。

ウ 若年層研修

採用からおおむね3年～5年の消防職員に対し、基本的な知識、技術の学習機会及び訓練環境を提供する。

エ 地域防災指導者育成研修

地域の防災力向上を図るために開催する住民を対象とした訓練の指導者を育成する。

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

新任の消防団員に対し必要な基礎的知識及び技術並びに厳正な規律を修得させる。

(2) 幹部教育（指揮幹部科）

ア 現場指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、実践的訓練を中心とした教育訓練により消火・救助等の知識及び技術を修得させる。

イ 分団指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、分団本部等で指揮を行うために必要な知識及び技術を修得させる。

(3) 特別教育（移動教育）

市町村（消防本部）の要請によって、現地に出向して教育訓練を行い、消防団員としての必要な知識及び技能を修得させる。

3 一般教育

一日震災訓練

自主防災組織のメンバー等を一日入校させ、震災時に対処できる実践的な教育訓練を行い、地域における防災体制の充実、強化を図る。

3 教育訓練計画表

種 別		対 象	実施予定期間	延日数	実日数	回 数	受入人員 (1回当)	研修方法	
消 防 職 員	初 任 教 育	新たに採用された消防職員	令和3年4月5日～9月27日	176日	117日	1回	60人	全 寮 制	
	専 科 教 育	救 助 科	救助隊員としての資格を必要とし、一定の基礎体力を有し救助業務に従事している者又はその予定者(年齢は原則として上限40歳まで)	令和3年9月30日～11月 2日	34日	24日	1回	30人	全 寮 制
		救 急 科	救急業務に従事しようとする者	令和3年11月4日～12月27日	54日	37日	1回	60人	全 寮 制
		予 防 査 察 科	予防業務に従事している者又はその予定者	令和4年1月11日～1月25日	15日	11日	1回	30人	全 寮 制
		警 防 科	分隊(小隊)を指揮する立場の者又はその予定者	令和4年1月27日～2月18日	23日	16日	1回	30人	全 寮 制
	幹 部 教 育	幹 部 科	消防士長以上の階級にある者であって指導的立場にある者	令和4年2月22日～3月 4日	11日	8日	1回	30人	全 寮 制
	短 期 研 修	火 災 性 状 体 験 修	令和2年度～4年度の3年間で、コンテナ施設での火災性状体験を体験していない者で、階級の上位者から全職員	①令和3年 5月24日 ②令和3年 5月28日 ③令和3年11月18日 ④令和3年12月10日 ⑤令和3年12月17日	1日	1日	5回	25人	通 学
		火 災 性 状 指 導 者 研 修	指導的立場にある者で、火災性状に関する知識を有し、コンテナ施設での火災性状体験の指導予定者	前期A 令和3年11月9日～10日	4日	2日	1回	20人	全 寮 制
				選択研修 令和3年 下記①～③より選択 ①11月18日PM ②12月10日PM ③12月17日PM		半日	3回		通 学
				後期A 令和3年12月2日		1日	1回		通 学
後期B 令和4年 1月 下記①～⑤より選択 ①12日 ②14日 ③17日 ④18日 ⑤19日				半日		5回	通 学		
若 年 層 研 修		採用後おおむね3年～5年の者	令和3年10月13日～10月14日	2日	2日	1回	30人	全 寮 制	
地 域 防 災 指 導 者 育 成 研 修	住民に対する防災訓練を指導及び推進する者	令和4年3月8日～10日	3日	3日	1回	30人	全 寮 制		
消 防 団 員	基 礎 教 育	消防団員の階級にある者	①令和3年6月19日～20日 ②令和3年7月 3日～ 4日 ③令和3年7月17日～18日	4日	前期 2日	3回	60人	現 地 通 学	
			①令和3年10月 2日～ 3日 ②令和3年10月16日～17日 ③令和4年 1月 8日～ 9日		後期 2日	3回	①30人 ②30人 ③60人	全 寮 制	
	幹 部 教 育	指 揮 幹 部 科 (現場指揮課程) 指 揮 幹 部 科 (分団指揮課程)	班長以上の階級にある者等	令和3年10月23日～24日	2日	2日	1回	30人	全 寮 制
				令和4年2月19日～20日	2日	2日	1回	60人	全 寮 制
	特 別 教 育	特 別 (移 動) 教 育	地区消防団員	随 時					現 地 通 学
一 般 教 育	一 日 震 災 訓 練	自主防災組織のメンバー等	①令和4年3月 8日 ②令和4年3月10日	1日	1日	2回	100人	通 学	

5 教育科目及び時間数

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

期 間・・・令和3年4月5日(月)～9月27日(月)

種 目	教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
基礎教育	倫理	人権教育	5	5
		講話、心を育む研修、情操教育	13	13
	法学基礎	法学基礎	6	7
		効果測定	1	
	消防法	消防法	8	9
		効果測定	1	
	消防組織制度	地方自治制度	2	9
		消防制度	6	
		効果測定	1	
	サービスと勤務	地方公務員制度	4	17
		公務員倫理	2	
		消防職員の処遇	2	
		職場生活	2	
		個人情報保護	2	
		文書実務	2	
		通信	2	
		効果測定	1	
	理化学	現場活動の物理	4	12
		燃焼理論と化学	4	
消防活動と電気		3		
効果測定		1		
実務教育	防火防災管理・消防広報	防火防災管理・消防広報	11	12
		効果測定	1	
	危険物	消防危険物	11	19
		危険物査察	7	
		効果測定	1	
	消防用設備	消防用設備	10	11
		効果測定	1	
	消防査察	消防査察	11	19
		査察シミュレーション	7	
		効果測定	1	
	建築	消防同意	3	10
		建築法令・規制	6	
		効果測定	1	
	安全管理	安全管理	9	17
		火災性状と放水技術	7	
		効果測定	1	
	特殊災害と保安	概論・特殊災害と消防活動	6	9
		酸素欠乏危険作業	2	
		効果測定	1	
	火災防ぎよ	概論・建物・林野・油・特殊災害	9	18
		火災防ぎよの実技	8	
効果測定		1		
火災調査	火災調査	7	15	
	火災調査実習	7		
	効果測定	1		

種 目	教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
実務教育	防災	防災対策・広域応援	8	20
		土砂災害	2	
		水防法	2	
		気象と災害	3	
		水防工法	4	
		効果測定	1	
	救急	総論	3	36
		自動体外式除細動器	7	
		救急法	25	
		効果測定	1	
消防機械・ポンプ	消防機械・ポンプ	8	9	
	効果測定	1		
実科訓練	訓練礼式	訓練礼式	49	55
		実技効果測定	6	
	消防活動訓練	消防活動概論	4	179
		消防活動訓練	35	
		ポンプ操法	39	
		消防活動応用訓練	93	
		実技効果測定	8	
		救助訓練	3	
	救助訓練	救助概論	3	92
		救助訓練	86	
		実技効果測定	3	
	体育	体育	11	50
		スポーツ障害	3	
		栄養管理	5	
		体育理論	7	
		体力練成	14	
		体力測定	10	
	機器取扱訓練	機器取扱訓練	18	18
効果測定	学科効果測定(訓練礼式、消防活動、救助)	3	3	
その他	実務研修	所属実務研修	35	35
	選択研修	水上安全法	35	70
		無線通信	14	
		施設実地研修	21	
	行事・その他	意見発表	2	50
		入校式	2	
		卒業式	2	
		実技訓練発表	3	
		防災訓練視察・見学	7	
		救助大会視察・見学	7	
		消防署・空港施設視察・見学	7	
		危険物施設視察・見学	4	
その他		16		
合 計			819	

(2) 専科教育

ア 救助科

期間・・・令和3年9月30日(木)～11月2日(火)

教科目	項目	時間数	総時間数
講話	講話・倫理	1	1
安全管理	安全管理理論	3	9.5
	消防装備	3	
	物理	2	
	人材育成	1.5	
災害救助対策	USAR・狭隘空間救助	14	29
	DMAT・狭隘空間救助	7	
	消防広域応援	2	
	NBC災害対策	3	
	震災対策	3	
救助訓練	基本訓練	8	106.5
	交通救助訓練	18	
	火災救助訓練	28	
	ロープレスキュー	33	
	総合訓練	8	
	学生企画訓練	8.5	
	振り返り訓練	3	
体育	体育理論	7	7
効果測定	実技・学科効果測定	5	5
行事・その他	行事・その他	10	10
合計			168

イ 予防査察科

期間・・・令和4年1月11日(火)～1月25日(火)

教科目	項目	時間数	総時間数
講話	講話・倫理	1	1
消防同意	同意制度・要領	7	7
消防用設備等	消防用設備等の構造機能・査察着眼点	7	7
査察	予防査察行政の現状と課題	4	28
	査察シミュレーション	14	
	火気・電気・少量危険物・指定可燃物施設	3	
	査察実習	7	
人材育成	予防査察指導者養成研修	7	7
危険物規則	規制・査察要領	7	7
違反処理	概要・手続・処理要領	4	4
事例研究	課題研究(討議・発表)	8	8
効果測定	学科効果測定	1	1
行事・その他	行事・その他	7	7
合計			77

ウ 救急科

期 間 . . . 令和3年11月4日(木) ~ 12月27日(月)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
講話	講話・倫理	1	1
救急業務及び救急医学の基礎	総論(沿革と意義・運用体制)	4	29
	総論(医療体制・他機関連携)	3	
	総論(関連法規・社会保障・福祉)	4	
	救急業務各論	4	
	医学概論	1	
	解剖生理	13	
応急処置の総論	観察と判断	3	58
	応急処置総論	3	
	応急処置各論	49	
	災害と多数傷病者対応	3	
病態別応急処置	外傷	3	33
	診療・放射線・熱傷・電撃傷	4	
	麻痺・頭痛・めまい	3	
	呼吸困難・ショック・意識障害	4	
	腹痛・腰背部痛・咯血・吐血・下血	3	
	胸痛・動悸	4	
	溺水・異物・環境障害	4	
	緊急度と重症度・心肺停止	3	
	メンタルヘルス・PTSD	3	
	中毒	2	
特殊病態別応急処置	小児・新生児	3	18
	産婦人科・周産期	3	
	高齢者・障害者	7	
	感染症・結核	3	
	その他の創傷処置	2	
実習及び実務研修	シミュレーション実習	49	93
	保温・体位管理、搬出・搬送	6	
	多数傷病者発生時対応訓練	7	
	高エネルギー外傷	7	
	救急ヘリ搬送	3	
	病院・所属実務研修	21	
効果測定	学科・実技効果測定	15	15
行事・その他	行事・その他	12	12
合 計			259

エ 警防科

期 間 . . . 令和4年1月27日(木) ~ 2月18日(金)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
講話	講話・倫理	1	1
防災	気象と災害(土砂災害対策)	2	2
警防対策	消防広域応援(警防行政の現状と課題)	2	2
消防戦術と安全管理	安全管理・火災現場指揮	6	11
	消防設備	3	
	火災防ぎよ・消防戦術	2	
実技訓練	警防技術訓練	9	64
	指揮訓練	30	
	燃焼実験	5	
	火災防ぎよ戦術	9	
	火災性状	11	
人材育成	教育技法・企画要領・課題解決能力	3	17
	学生企画訓練	7	
	人材育成の具体的な考え方	7	
事例研究	課題研究(討議・発表)	6	6
効果測定	効果測定	1	1
行事・その他	行事・その他	8	8
合 計			112

(3) 幹部教育(幹部科)

期 間 . . . 令和4年2月22日(火) ~ 3月4日(金)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
講話	講話	1	1
消防財政	消防財政	1	1
人事業務管理	メンタルヘルスと惨事ストレス	2	21
	消防メンタル	7	
	教育技法	4	
	部下の指導・人権	3	
	心を育む研修	3	
	説得技法	2	
消防戦術と安全管理	組織における安全管理体制	4	13
	火災防ぎよ	9	
現場指揮	指揮訓練	6	6
事例研究	研究課題(討議・発表)	7	7
行事・その他	行事・その他	7	7
合 計			56

(4) 短期研修

ア 火災性状体験研修

実施日・・・第1回 令和3年5月24日(月)
 第2回 令和3年5月28日(金)
 第3回 令和3年11月18日(木)
 第4回 令和3年12月10日(金)
 第5回 令和3年12月17日(金)

教科目	項目	時間数	総時間数
安全管理	火災性状	1.5	7
	燃焼実験	1.5	
	体験訓練	4	
合計			7

イ 火災性状指導者研修

期間・・・前期A 令和3年11月9日(火)～10日(水)
 選択研修 令和3年
 下記①～③より選択
 ①11月18日(木)午後、②12月10日(金)午後
 ③12月17日(金)午後
 後期A 令和3年12月2日(木)
 後期B 令和4年
 下記①～⑤より選択
 ①1月12日(水)、②1月14日(金)
 ③1月17日(月)、④1月18日(火)
 ⑤1月19日(水)

教科目	項目	時間数	総時間数
安全管理	火災性状	3	3
指導要領	燃焼実験(指導実践要領)	9	29
	教育技法	4	
	教育見学	4	
	指導実践	10	
その他	オリエンテーション	1	
	効果測定	1	
合計			32

ウ 若年層研修

期間・・・令和3年10月13日(水)～10月14日(木)

教科目	項目	時間数	総時間数
安全管理	安全管理	1	5
	火災性状	4	
予防	消防査察・消防用設備・防火防災管理	3	3
消防活動訓練	消防活動訓練	4	4
行事・その他	行事・その他	2	2
合計			14

エ 地域防災指導者育成研修

期間・・・令和4年3月8日(火)～3月10日(木)

教科目	項目	時間数	総時間数
指導要領	指導技法	7	21
	指導演習	14	
合計			21

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

区 分		期 間 等
前 期	第1回	令和3年6月19日(土)～6月20日(日) 西部地区を対象として現地で実施(2日間通学)
	第2回	令和3年7月3日(土)～7月4日(日) 東部地区を対象として現地で実施(2日間通学)
	第3回	令和3年7月17日(土)～7月18日(日) 中央地区を対象として消防学校で実施(2日間通学)
後 期	第1回	令和3年10月2日(土)～10月3日(日) 消防学校で実施(1泊2日)
	第2回	令和3年10月16日(土)～10月17日(日) 消防学校で実施(1泊2日)
	第3回	令和4年1月8日(土)～1月9日(日) 消防学校で実施(1泊2日)

教 科 目	項 目	時間数
講話	講話	1
訓練礼式	訓練礼式	4
組織制度	組織制度	1
機器取扱い訓練	資機材取扱い訓練	7
	放水訓練(機関運用訓練)	
火災防ぎよ	火災性状・安全管理	3
防災	震災対策訓練	4
	土砂災害	
	地震対策	
救急救助	救急救助	4
緊急自動車運行管理	緊急自動車運行管理	1
行事・その他	行事・その他	3
合 計		28

(2) 幹部教育

ア 指揮幹部科 (現場指揮課程)

期 間・・・令和3年10月23日(土)～10月24日(日)

(全寮制)

教 科 目	項 目	時 間 数
講話	講話	4
現場指揮	現場指揮	
安全管理	安全管理	
火災防ぎよ	火災性状	
組織管理	組織管理	
救助救命訓練	応急手当・救助資器材取扱い	3
避難誘導訓練	トリアージ・震災対応	3
災害情報収集・伝達訓練	災害情報収集・活動表示・無線交信	2
地域防災指導訓練	地域防災指導訓練	0.5
行事・その他	開校式・修了式等	1.5
合 計		14

イ 指揮幹部科 (分団指揮課程)

期 間・・・令和4年2月19日(土)～2月20日(日)

(全寮制)

教 科 目	項 目	時 間 数
講話	講話	1
組織制度	組織制度	
安全管理	安全管理	1.5
	惨事ストレス	
	火災性状(燃焼実験)	
防災	土砂災害	2
	地震対策	1
災害対応図上訓練	災害情報伝達訓練	3
事例研究	事例研究	2.5
行事・その他	開校式・修了式等	1
合 計		12

(3) 特別教育

特別（移動）教育

市町村の実情に応じて適宜カリキュラムを編成する。

3 一般教育

一日震災訓練（2回実施）

実施日・・・令和4年3月8日（火）

令和4年3月10日（木）

教科目	項目	時間数
住民救助隊養成研修	災害対応理論・災害時の心理	3
	チームとリーダー	
	火災対応訓練	1
	応急処置・トリアージ	1
	災害想定訓練	1
行事・その他	開校式・修了式	0.5
合計		6.5